

第1回理事会 議事録

日 時：平成27年4月24日(金)14:00～18:15

場 所：本学会会議室

出席者：長谷川会長，木谷，大塚各副会長，伊藤常務理事，太田，長田，釜井，塩崎，高見，茶石，徳永，原，
宮崎，向山各理事，奥田，中嶋各監事

陪 席：熊谷(事務局)

議事内容：

1. 前回議事録の確認

- ・平成27年3月27日開催の第10回理事会の議事録案が承認された。

2. 審議事項

(1) 会員状況

- ・4月21日時点で、個人会員12名の入会希望と7名の退会希望があり、個人会員数が1892名になることを確認し、了承された。
- ・新規入会者を増やすため、賛助会員に会長名で入会依頼文を送付することとした。また、送付先として研究所長宛等とし、教育スケジュール(CPDを含む)等の資料を付けることとした。
- ・会員数・年齢構成等の推移について総務委員会で検討することとした。

(2) 巻頭言執筆者

- ・第56巻未定者および第57巻は以下の方々に依頼することとした：橋本修一会員(第56巻)，平田和彦会員，小嶋 智中部支部長，木方建造会員，原口 強会員，全地連会長。残り未定者1名(第57巻)。

(3) 総会資料の確認

- ・総会資料には「第10回アジアシンポジウム」を使わず、「国際応用地質学会第10回アジア地域会議」に統一するなどの修正を行うこととした。

(4) 支部交付金

- ・平成27年度の支部交付金は総額を前年と同じ192万円(うち12万円は研究発表会開催の関西支部へ交付)とし、提示した各支部への配分額が了承された。

(5) 第10回アジアシンポジウム

- ・要旨集を一部修正(会場案内図，巡検案内等は別途配布)することとした。
- ・寄付金は4/20時点で、個人会員121万円，賛助会員34万円であり，賛助会員からの寄付のお願いを再度実施することとした。

(6) 委員の承認：以下を承認した。

総務委員会

- ・交替：(現)安藤伸(応用地質)→(新)蚊爪康典(応用地質)，(現)土屋彰義(全地連)→(新)長谷川 淳(鉄道総研)

事業企画委員会

- ・新任：森山哲朗(サンコーコンサルタント)，交替：(現)辻本勝彦(東京ソイルリサーチ)→(新)石濱茂崇(熊谷組)

広報・情報委員会

- ・交替：(現)長谷川淳(鉄道総研)→(新)田中姿郎(電中研)

編集委員会

- ・交替：(現)島 馨(応用地質)→(新)宮本浩二(応用地質)，(現)山本高司(川崎地質)→(新)栃本泰浩(川崎地質)

研究企画委員会

- ・交替: (現) 田中姿郎(電中研) → (新) 上野 光(鉄道・運輸機構)

教育普及委員会

- ・退任: 中川康一(地盤・地下水環境 NET), 釜井俊孝(京都大学)

(7) 新たな表彰制度

- ・田中基金を活用する新施策については、基金活用後に論文投稿するという流れの方が良い。

(8-1) 共催依頼

- ・第 59 回粘土科学討論会の共催依頼については、共催ではなく、後援として承諾することとした。

(8-2) 協賛依頼: 春季講習会への協賛について(地下水技術協会)

- ・協賛を許可することとした。

(9) 著作物の引用転載許諾願(地盤工学会)

- ・2 件の依頼に対し、許可することとした。

(10) 学会パンフレット

- ・和文と英文のパンフレットをアジアシンポジウムの予算で作成することとした。

(11) 連合大会

- ・学協会エリア総合インフォメーションコーナーに国際委員会が作成した英文パンフレットと入会申込書を設置することとした。

3. 報告事項

(1) 収支状況

- ・H27 年度予算案は原案では赤字であることから、初生地すべりの特集号のカラー印刷代については、学会と著者とで折半することとした。
- ・広島土砂災害報告書は有料で販売することとした。

(2) 日本工学会会員会長懇談会の報告

- ・長谷川会長より同懇談会の概要報告があった。

(3) JpGU 学協会長会議(第 12 回)

- ・JpGU 第 12 回学協会長会議については大塚副会長が代理出席することが報告された。

(4) 倉持文雄名誉会員の追悼文

- ・遠藤毅会員に追悼文を執筆して頂くことが報告された。

4. その他(各委員会・支部からの報告)

・事業企画委員会

- シンポジウム予稿集の残部は物理探査学会と折半することが報告された。

・教育普及委員会

- 応用地質技術実践講座及び入門講座の開催についてと今後のスケジュールについての報告があった。
- また、委員委嘱状は、事務局から Excel の書式を各委員長に送付し、それを基に作成することとした。

・東北支部

- 平成 28 年度全国大会開催場所については支部の都合を優先して決めることとした。